

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		観光振興事業					
事業の概要		<p>本町のすぐれた観光資源を活かすとともに、温泉を活用した癒し観光、特色ある産業などを舞台にした体験観光など、ここならではの交流の場作りを進めるために必要な観光施設の整備を行う。また、産業振興イベントの実施や、地元製品の販売拡大、販路開拓を支援し与謝野町のPRと観光産業、地域経済の活性化を図るものである。</p> <p><YOSANOオータムフェスティバル> 平成21年11月8日実施 <優良産品パンフレット作成> パンフレット 10,000部 <クアハウス岩滝整備事業> ・パーデゾーン内造花入替工事 ・更衣室内冷水機取付工事 ・温泉・給湯温度調節装置改良工事 ・男子更衣室内床張替工事 ・クアハウス岩滝環境対策工事(空調設備改修、設計委託) <観光施設整備事業> ・上司谷公園休憩小屋屋根改修 ・大内峠一字観公園浄化槽改修 ・旧加悦鉄道駅舎エアコン改修 ・道の駅駐車場改修 ・ユースセンターエアコン改修 ・山の家トイレ収納戸・看板改修 ・ユースセンターボイラー制御盤改修 ・池ヶ成キャンプ場整備 (展望台手摺改修、休憩施設改修、浄水施設改修) ・道の駅屋外トイレ改修・設計委託</p>					
		事業期間	平成21年度				
		総事業費	12,567	本年度事業費	12,567	交付金交付額	6,283
事業評価	事業の必要性	人口が減少し高齢化が進展する本町において、まちの活性化は至上課題である。まちの衰退を回避するため、自然観光資源や、歴史的・文化的観光資源を有効に活用し、本町の素晴らしさを伝え、交流人口の増加を図り、まちの活性化を図る必要がある。					
	事業の有効性	本町の主要産業であるちりめん産業が長期の低迷状態にある中、町内の観光・産業資源を町外に積極的に周知することで、今後の本町の産業を豊かなものにするためのきっかけとなる。					
	事業の効率性	本町のすぐれた地域資源を活かしたイベントを開催することにより、「ここならではの交流の場づくり」を推進するものである。また、与謝野町の知名度の向上や、観光客数・観光消費額の増加が見込め、町内の観光振興に資するものとなる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 産業振興イベントの実施や、地元製品の販売拡大、販路開拓を支援することにより、与謝野町のPRと観光産業、地域経済の活性化を図るものである。与謝野町の知名度の向上や、観光客数・観光消費額の増加が見込め、町内の観光振興に資するものとなる。					
		3 リーディング・モデル成果 本事業により、地域資源に磨きをかけた観光交流を育て、町外からの来訪者と地域住民の相互交流を促進し、まちの活性化を図るものである。また、地元製品の販売拡大、販路開拓を支援し、与謝野町をPRすることで、観光客の増加と地元経済の活性化に資する。					
		4 広域的波及成果 本町のすぐれた観光資源を活かすことにより、町民の交流の場の提供、観光施設利用に付随する公共サービスや観光施設を介して発生する各種民間サービスの提供を図ることができ、リピート性の高い安定した観光地づくりに資する。					
5 行財政改革に資する成果 温泉を活用した癒し観光、特色ある産業などを舞台にした体験観光など、ここならではの交流の場づくりを推進するため、施設整備を適切な時期に行うことで、長寿命化を図るとともに、与謝野町の印象の向上及び効果的誘致が図られるものである。							
6 その他の成果 本町の主要産業であるちりめん産業が長期の低迷状態にある中、町内の観光・産業資源を町外に積極的に周知することで、今後の本町の産業を豊かなものにするためのきっかけとするものである。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。